



# 九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

## ■股関節・膝関節の痛みでお悩みの方へ

——人工股関節・膝関節置換術で、痛みのいちじるしい緩和を

### 豊富な症例数と良好な治療成績

高齢化社会の到来により、変形性関節症に代表される関節疾患は急激に増加しています。関節症が進行すると、痛みのために歩行障害をきたし、日常生活に著しい制限が生じてしまいます。人工関節置換術は、その痛んだ関節を人工物で置換することで、痛みをたいへん緩和する手術です（図1、2）。

この手術によって最近では、症状にもよりますが、山登りやゴルフなどのスポーツに参加できる患者さんもいます。整形外科の手術症例数は年間300例以上を数え、患者さんの生活の質（QOL）向上に貢献しています。素材や手術手技の進歩により、長期予後は大きく改善し、人工関節の耐久性は現在10年で98%以上を示すようになりました。



図1 人工股関節



図2 人工膝関節

### ナビゲーションシステムを用いた手術精度の向上

人工関節を長持ちさせるためには、骨にインプラントを正確に挿入する必要があります。手術中にナビゲーションの技術を利用することが可能になり、人体の骨の位置情報を把握しながら、術前計画通りの正確な手術が可能になりました（図3）。

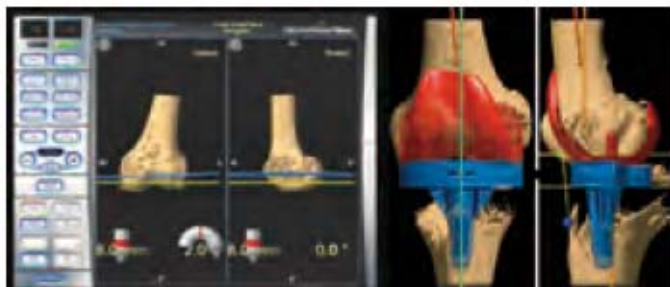


図3 コンピュータ・ナビゲーションシステム

### 3D 動作解析手法による人工関節の可視化

生体内での人工関節の動きを可視化する技術を用いて、日常生活やスポーツなどで、術後の姿勢や可動域などを検証しています（図4）。健康的な生活、安全なスポーツ活動を奨励し、患者さんの健康寿命に貢献することを目指しています。



図4 人工関節の生体内動態を可視化

### 3D プリンター技術を駆使した最先端の人工関節

私たちは産学連携研究を通じて、3D プリンター技術で作成された多孔質の人工股関節カップを開発しました（図5）。表面摩擦力が高く、骨と強固に結合する立体構造により、さらなる長期成績の向上が期待されます。現在短期ではありますが、臨床成績は良好です。

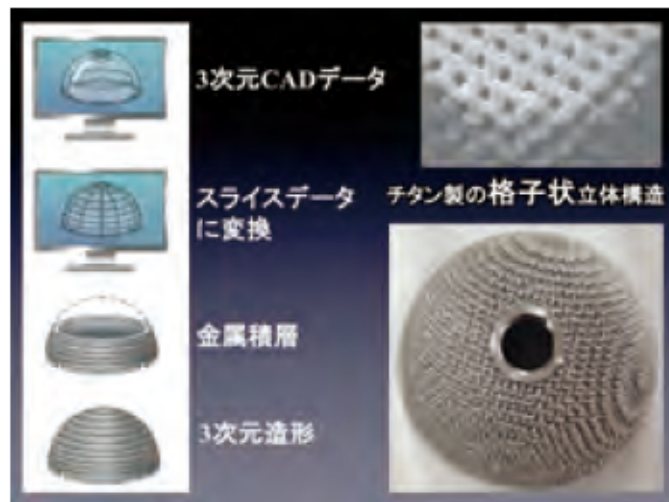


図5 新しい人工関節表面加工

### ■股関節・膝関節外来

初診日：月・水・金の午前中 ※紹介状・予約が必要です。

お問い合わせ：092-642-5504（平日9：00～16：00）

股関節疾患の診療：中島康晴（教授）ら5名

膝関節疾患の診療：岡崎 賢（講師）ら4名



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ①

### 消化管外科(1)

食道・胃領域では、ほぼすべての患者さんを内視鏡手術（腹腔鏡・胸腔鏡）で治療しています。高度な手術技術で、患者さんの身体に優しい治療を行うよう心がけ、他の診療科の医師との協力のもと、患者さんにとってより良い治療を追求しています。また一般的には切除不能と思われるほど進行した患者さんに対しては、新しい種類の抗がん剤治療を行い、腫瘍を縮小させた後、根治的な手術を目指しています。

下部消化管（小腸・大腸）領域でも、ほとんどの患者さんに対して身体に優しい腹腔鏡手術を行っています。おもな疾患は、大腸がんをはじめ消化管間質腫瘍（GIST）、悪性リンパ腫、家族性大腸腺腫症などの腫瘍性病変やクローン病・潰瘍性大腸炎・憩室炎などの炎症性疾患、腸閉塞などですが、消化管内科や腫瘍内科と連携して、つねに最善の治療法が選択できるように心がけて診療しています。また、下部直腸がんに対しては、腫瘍学的に容認できれば、可能な限り人工肛門を回避した自然肛門温存術を行っています。

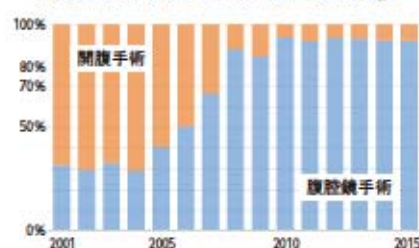
今後も最新・最良の医療が届けられるように、日々の診療に取り組んでいきます。

消化管外科(1) : <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/geka/01/1.html>

胃がんに対する腹腔鏡手術の推移



大腸がんに対する腹腔鏡手術の推移



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ②

### 咬合補綴科 — 審美歯科外来 —

当科では歯質や歯の欠損に対して被せ物（冠、クラウン）やブリッジ、床義歯の治療を行っています。これらの治療では、咀嚼（そしゃく）機能の回復とともに審美性の改善を目指していますが、保険治療では対応できないような、より高度な審美的要求に応えるために審美歯科外来を設置し、日本補綴歯科学会専門医・指導医を含む教員・医員で治療にあたっています。

審美歯科外来では、歯を削らずに薬剤を使って歯の色調を改善するホワイトニング治療や、被せ物（冠）には、より天然歯の色調に近づけるため根管内漂白やファイバーポストを用いたCAD/CAMベースのオールセラミッククラウン（写真）などを用いた治療を行っています。

また床義歯も、保険の部分義歯で用いる金属の留め金（鉤、クラスプ）が見えないようなノンメタルクラスプ義歯を取り扱い、患者さんのニーズに応じた治療を行っています。

咬合補綴科 : <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/06/index.html>



オールセラミッククラウンで前歯2本を治療後の状態

## ■連載 メディカルスタッフを紹介します [21]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

### 臨床心理士

九州大学病院では、心療内科、精神科神経科、子どものこころの診療部、がんセンター、総合周産期母子医療センター、プレインセンターに計11名の臨床心理士が配置され、患者さんの心理支援を行っています。

臨床心理士は、各種の心理検査や面接を通して、患者さんの心理的な問題や課題を明らかにし、適切な援助方法を総合的に判断します。また、さまざまな臨床心理学的技法を用いて、それぞれの患者さんに応じた問題の克服や困難の軽減、生活の質（QOL）の向上におけた心理支援を行います。さらに、患者さん個人だけではなく、家族や生活環境に働きかけていくことも大切な支援です。必要に応じて、カンファレンスなどに参加し、病院内外の他職種や他機関とも連携を図りながら、間接的な心理支援も行っています。

近年、心理的な問題の重要性が認識されるようになり、心理支援のニーズはますます高まっています。私たち臨床心理士は、患者さんが安心、満足していただけるような質の高い技術を提供できるように日々研鑽（さん）に励んでいます。





## クリスマスロビーコンサートにご参加ください

恒例の「クリスマスロビーコンサート」が12月19日(月)17:00から、外来診療棟1階で開催されます。参加は自由です。

日々、病気の回復に励んでいる患者さんやご家族に心休まる時間を提供したいと、このロビーコンサートを毎年企画しています。

プロのソプラノ歌手による歌やピアノの独奏で、馴染み深いクリスマス曲や「アヴェ・マリア」「アメイジング・グレイス」「花のワルツ(くるみ割り人形)」などが演奏されます。また、クリスマスメドレーや「荒野の果てに」などのクリスマスには欠かせない曲の演奏などもあります。

会場の皆さんで「きよしこの夜」を合唱するなど、クリスマスを満喫する楽しい夕べを過ごしてみませんか。



昨年のコンサートの様子

日時 2016年12月19日(月) 17:00-17:45

場所 九州大学病院 外来診療棟1階玄関ロビー

お問い合わせ 九州大学病院 患者サービス課  
TEL: 092-642-4850

## 九州大学病院別府病院 内科(循環・呼吸・老年病内科)

循環・呼吸・老年病内科では、循環器病(心不全・虚血性心疾患・不整脈・末梢動脈疾患・肺高血圧症など)、呼吸器(睡眠時無呼吸)疾患、神経疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性、認知症、慢性疼痛性疾患)、生活習慣病(高血圧・高脂血症・メタボリック症候群)の患者さんの診療を行っています。

症状としてあらわれている胸痛、動悸、呼吸困難、失神、血圧が高い、コレステロールや血糖が高い、いびき、震え、物忘れ、慢性的な痛みについて診療しています。

検査では、心臓超音波検査、心臓CT検査、トレッドミル運動負荷心電図、血圧脈波検査、血管内皮機能検査(FMD)、24時間心電図・血圧計、頭部・胸部CT、頭部・脊髄MRI、心臓カテーテル検査、アプノモニタ(簡易睡眠時呼吸検知装置)、睡眠ポリソムノグラフィ検査などを駆使しています。

治療には、薬剤治療のほか、経皮的冠動脈形成術・ステント植込み術、ペースメーカー植込み術、リハビリテーション(心臓、運動器)、持続陽圧呼吸療法などを備えています。慢性疼痛には、鉱泥浴治療(写真右)というユニークな温泉治療で効果を上げています。



心臓カテーテル検査



鉱泥浴治療

## ■がん専門薬剤師外来

—がん患者さんのための新たな経口抗がん剤服薬支援体制

がんセンター・薬剤部 榎原 洋子

九州大学病院では2015年9月より、経口抗がん剤治療を受ける患者さんやそのご家族を対象に、がん専門薬剤師外来を開設しました。現在、がん専門薬剤師やがん薬物療法認定薬剤師の資格をもつ薬剤師3名が担当しています。

がん専門薬剤師外来では、初回受診時は経口抗がん剤の服薬指導を行い、2回目以降は医師の診察前に面談して患者さんの服薬状況を把握し、それに伴う体調の変化や抗がん剤による副作用症状の有無を確認します。必要に応じて、抗がん剤の休薬・減量や検査オーダーを医師に提案することで、安全かつ適正な薬物療法の支援に努めています。また、患者さんが安心して経口抗がん剤を服用できるように、日

常生活での小さなことにも耳を傾け、患者さんがもつ疑問や不安を解消できるようアドバイスしています。

がん専門薬剤師外来に対する患者さん

や医師からの評価は高く、今後、拡充を図ることを計画しています。なお、がん専門薬剤師外来は予約制のため、受診を希望する患者さんやご家族は主治医にご相談ください。





# ■病気と闘う子どもたちと家族のための滞在型施設 「シバタハウス」オープン！

九州大学病院の医療活動は多くの皆さんの力で支えられています。病気の子どもと家族のために宿泊施設を提供することで、子どもたちの闘病を支える市民団体やグループによる支援活動もその一つです。

今回、そのようなグループの支援活動から滞在型施設がまた一つ新たに開設されましたので、紹介します。



- ① 1Kの洋室
- ② 2Kの和室
- ③④ 2Kのキッチンと洋室

1室利用料：1泊1,000円  
日帰り500円  
(1室人数に関係なく)  
1K (6畳 + K: 洋室)  
1DK (39㎡: 洋室)  
2K (39㎡: 和室)

難病によって長期に渡る通院や入院を余儀なくされる子どもたち、そしてその子どもたちを看病する家族が、病院近くに安心して滞在できる施設の一つ「シバタハウス」が、九州大学病院東門から徒歩3分の場所にオープンしました。

「シバタハウス」は、つらい治療と向き合う子どもたちと、その傍らで不安と闘いながら子どもたちを支える家族が、心身ともに安らげる家を目指し、福岡市内で支援活動を20年以上行っている団体「福岡ファミリーハウス」が運営しています。

今年の春からインターネットを通じて資金を集め、築40年以上のアパートの空き部屋だった3室を、福岡市近郊の工務店やインテリアコーディネーター、全国の塗装業者などの有志、福岡市内の専門学校生や学生、また一般のボランティアらが協力して、美しく快適によみがえらせました。

白を基調に木の温もりを活かした室内には、ベッドやテーブルなどの家具のほか、冷暖房、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テレビなどの電化製品も備わり、身一つで滞在できます。

心身のリフレッシュのためにゆったり入れるお風呂や、入院中の子どものために手作り料理を作れるようシステムキッチンや調理器具、食器なども完備されています。また、乾燥機やアイロン、ホットプレート、自転車などの共用備品もあり、便利で利用者の精神的負担が少なく過ごせるよう、工夫されています。

ある患者さんの家族は、「長い入院生活の看病で、ホッとできるプライベートな空間がほしかった」と涙するほど、オープンを心待ちにしていました。

看病の合間の貴重なプライベート時間を、また、かけがえない家族との大切な時間を、ここ「シバタハウス」で過ごしませんか。

詳細は下記へお問い合わせください。

■お問い合わせ 「福岡ファミリーハウス」  
TEL: 090-7988-8189  
メール: fukuoka.familyhouse@gmail.com

## 病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。



九州大学病院（病院キャンパス）は敷地内全面禁煙です。

## ■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

## ■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

TEL 092-641-1151 [代表] FAX 092-642-5146 [外来]  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
(ホームページ) <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>